

# 第7回 占冠村ヒグマミーティング 「ヒグマのフシギしらべてためして」



ご あ ん な い

占冠村ヒグマミーティングは、ヒグマに強い地域づくりを目指す村と村民有志、専門家による学習会です。ヒグマを巡る社会情勢が騒がしい昨今ですが、腰を据えてヒグマを直に調べ、伝え、学び続ける営みが大切ではないでしょうか。7回目の今回も村の年次報告や教育研究機関の最新の研究結果をご紹介します。私たちの「ヒグマ知」を深めます。さらに皆さまの疑問や意見も交えながら、ヒグマと隣り合う私たちの暮らし方を考えてみたいと思います。

と き：令和6年 1月27日（土曜日）

と ころ：占冠村総合センター（村役場）2階



ご案内ホームページ

フリースペース「ひぐまひろば」9時30分～17時

開催中は常設です。お好きなときにご利用ください。ヒグマ会議の時間帯も利用でき、モニターで会議の聴講もできます。くつろいでお過ごしください。

- 書籍、文献閲覧コーナー
- 標本、模型展示コーナー
- 研究発表等掲示コーナー
- 資料映像上映コーナー
- ヒグマ作品展
- ヒグマゲームコーナー
- 塗り絵・工作コーナー

「ヒグマ会議」 午前の部10時～12時、  
午後の部13時～16時頃

担当者、研究者が口頭発表します。またご参加の皆様と質疑応答、意見交換を行います。前回より時間枠を広げました。どっぴりノメリこみましょう！

- ◆令和5年期の村のヒグマ情勢（村）
- ◆研究発表（酪農学園大学・帯広畜産大学ほか）
- ◆これからのヒグマ対策と研究課題（総合討論）

※ 演題の詳細は裏面をご覧ください

対象者：どなたでも参加できます。児童、生徒、学生、村外の方も歓迎いたします。小さなお子様をお連れの方もご遠慮なく。

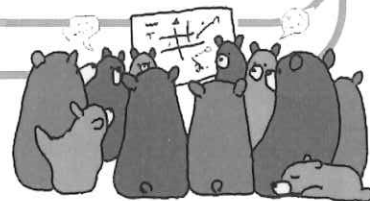
参加料：無料です。会場は出入り自由です。

申込み：申し込みがなくても参加可能ですが、事前に参加をお決めでしたら、ぜひ下記担当へお知らせください。開催要領の変更等の際、個別に連絡致します。

その他：一般の事例発表の受付は終了しました。ヒグマ作品展（野生動物に関する絵画彫刻その他作品）に出品いただける方は、当日までにご一報ください。

主催：第7回占冠村ヒグマミーティング実行委員会 共催：占冠村公民館／富良野地区広域教育圏振興協議会 協力：占冠村

お問い合わせ、お申込み連絡先：第7回占冠村ヒグマミーティング実行委員会事務局  
電話 090-8966-3000（野生鳥獣専門員 浦田）



# 「ヒグマ会議」 発表演題（予定）

10:00～

- ・令和5年期の村のヒグマ情勢・・・浦田 剛（占冠村 野生鳥獣専門員）
- ・2023年の占冠村内でのヒグマ研究報告・・・伊藤哲治（酪農学園大学 講師）

11:00～

- ・占冠村および旭川市のヒグマの糞分析・・・小木曾粹介（酪農学園大学 4年生）
- ・ヒグマGPS測位データによる利用環境調査・・・今井和歩（酪農学園大学 4年生）
- ・酪農大圃場でのニホンジカの被害対策効果・・・金谷光起（酪農学園大学 4年生）
- ・ヒグマの行動を読み解くための匂いコミュニケーション研究・・・富安洵平（帯広畜産大学 助教）
- ・藪を漕ぎ漕ぎ考える～学生グループによるヒグマ研究・・・伊藤康幹（北大ヒグマ研究グループ）

12:00～13:00 休憩

13:00～

- ・午前の部ダイジェスト&ヒグマ作品紹介・・・事務局ほか
- ・匂いによるアライグマ誘引効果と捕獲への応用・・・田中 蓮（酪農学園大学 4年生）
- ・アライグマの普及啓発に関するアンケート調査・・・青木慧斗（酪農学園大学 4年生）
- ・被害対策がヒグマの農作物被害に与える影響・・・直島夕花（酪農学園大学 4年生）
- ・野生動物の被害対策と作物収量の関係・・・金井大地（酪農学園大学大学院修士課程）

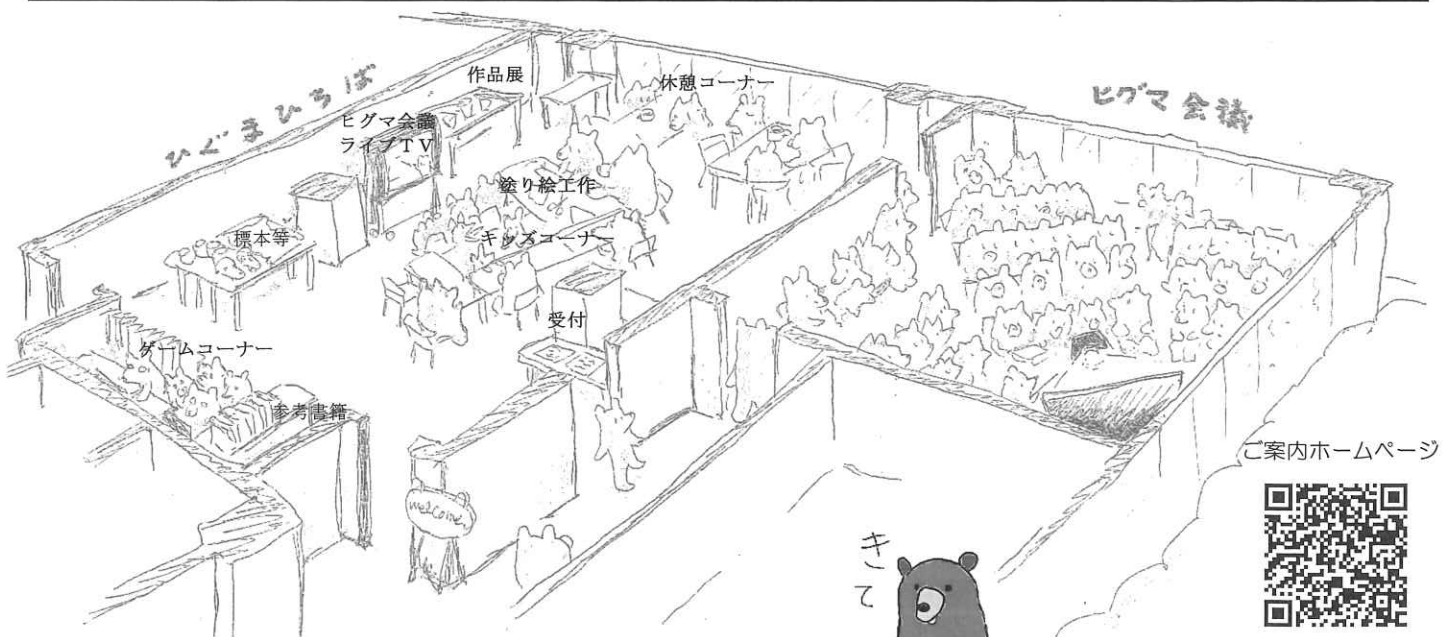
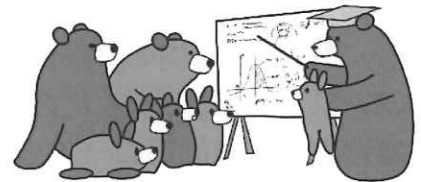
14:00～

- ・ニホンカモシカの個体間の距離と血縁関係・・・中野あかり（酪農学園大学 4年生）
- ・浦幌・白糠丘陵の長期的ヒグマ研究の経緯と展望・・・菊地静香（酪農学園大学大学院博士課程）

15:00～

- ・総合討論 総合質疑（16:00 終了）

- ※ 途中の出入りは自由です。
- ※ 発表内容、配布物等の無断転載はおやめください。
- ※ 撮影画像、音声等の利用は個人の学習目的に限ります。発表スライドの撮影はご遠慮ください。そのほかは担当にお問い合わせください。



ご注意：会場で村の広報や報道機関の取材が想定されます。特に撮影や取材を避けたい方は、会場担当までお申し出ください。